



ZWCAD 2025 1.2

製品リリースノート

THE ZWSOFT TEAM

ZWSOFT | 2025/09/19

目次

1. 概要.....	
2. 新機能と改善点.....	4
2.1 Drawing View 図面ビュー	4
2.1.1 新しいレイアウトタブと図面ビュータブ	4
2.1.2 投影タイプ、線種、線の太さのカスタマイズ	5
2.1.3 基本ビューと投影ビューの作成、編集、更新	5
2.1.4 新しい図面ビューのプロパティとクイックプロパティ ..	8
2.2 ViewCube.....	8
2.2.1 ViewCube のコンポーネント	9
2.2.2 ViewCube メニュー	9
2.2.3 ViewCube 設定	10
2.3 滑らかな線/面の表示の最適化	11
2.4 GeoTIFF 画像フォーマットの解析.....	12
3. その他の機能強化.....	13
4. 新コマンド & システム変数	

ZWCAD 2025 1.2 リリースノート

バージョン番号: 25.00_2024.09.04(#15253-247870170b3)

1. 概要

ZWCAD 2025 1.2 では、2つの重要な新機能が追加され、画像表示品質や操作効率も向上しました。以下は主な更新内容です：

新機能&機能強化	説明
図面ビュー	モデル空間内の 3D オブジェクトから基本ビュー、直交投影、等角投影ビューを作成できます。
ViewCube	2D モデル空間や 3D ビジュアルスタイルでのビューのナビゲートや切り替えを便利に行えます。
滑らかな線/面の表示 の最適化	線や面の表示品質が大幅に向上しました。
GeoTIFF 画像 フォーマットの解析	GeoTIFF 画像を位置情報や座標系に基づいて図面に添付できます。
その他の機能強化	詳細については、左側のタイトルをクリック

	クして、このセクションに移動してください。
--	-----------------------

2. 新機能と改善点

2.1 図面ビュー

図面ビュー機能により、3D モデルから正確な 2D 図面を生成できます。これにより、製造用図面や組み立て指示書、技術文書の作成が容易になり、3D モデルの変更が自動的に 2D ビューに反映されます。顧客にとっては、設計から生産へのワークフローが簡素化され、設計詳細の伝達がより正確になり、生産性が向上します。

2.1.1 新しいレイアウトタブと図面ビュータブ

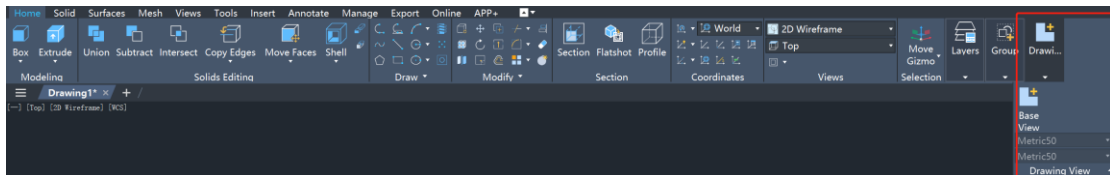


図 1. 図面ビューをリボンで開く

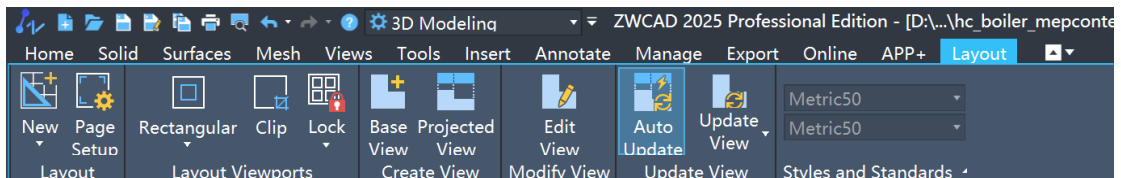


図 2. レイアウトタブ

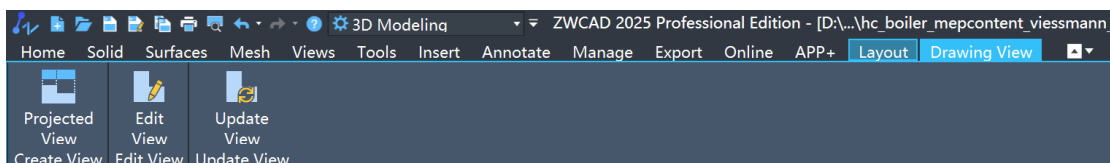


図 3. 図面ビュータブ

2.1.2 投影タイプ、線種、線の太さのカスタマイズ

新しい図面ビューを作成する際、投影タイプ、プレビュータイプ、線種などの設定を柔軟にカスタマイズできます。これらの設定は既存の図面ビューには影響しません。

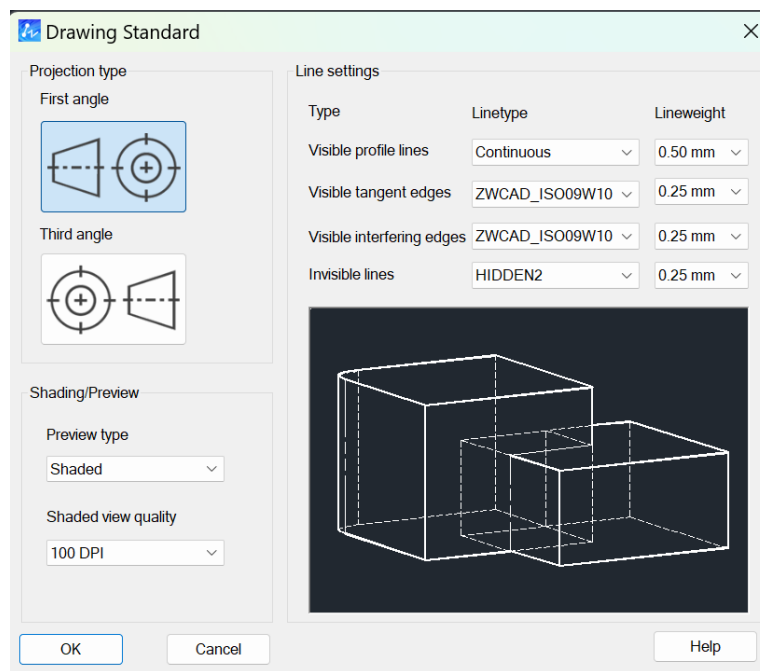


図 4. 図面標準設定ダイアログボックス

2.1.3 基本ビューと投影ビューの作成、編集、更新

モデル空間内のソリッドオブジェクトを選択して、基本ビューや投影ビューを簡単に作成できます。これらのビューは、オブジェクトの再選択、ビューのスケール変更、見える線や隠線の編集、シェード効果の調整などが可能です。

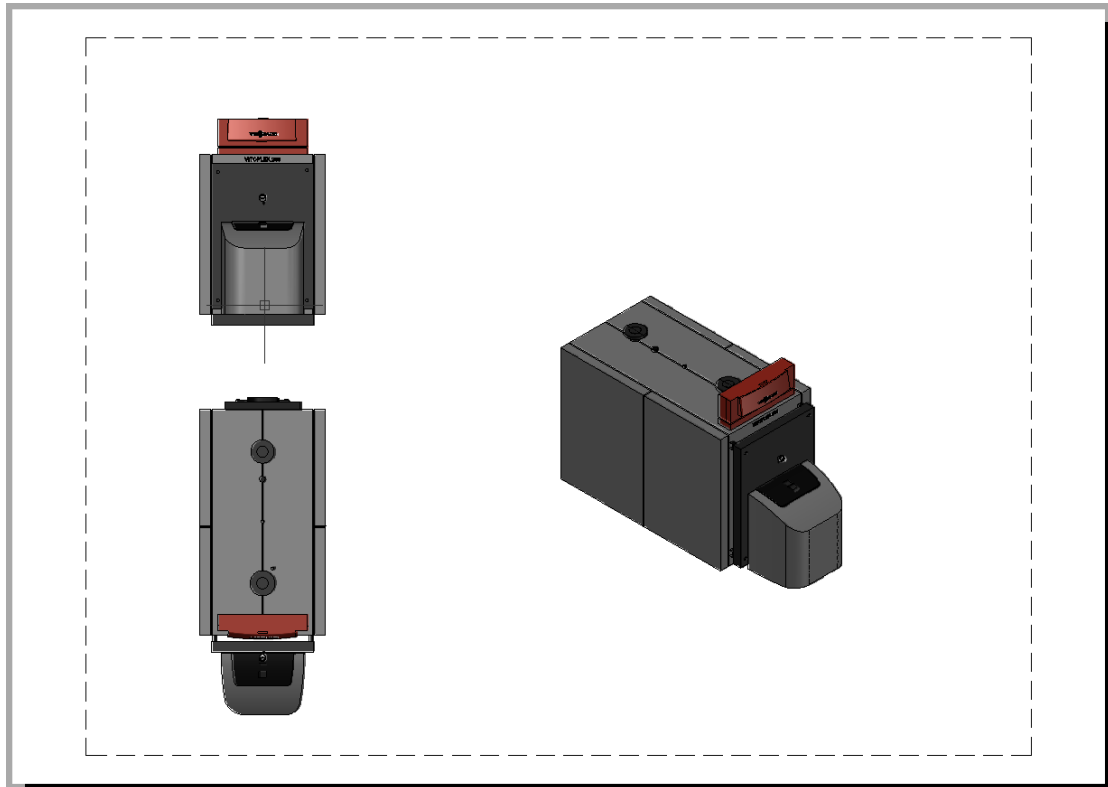


図 5. ベースビューと投影ビューの作成

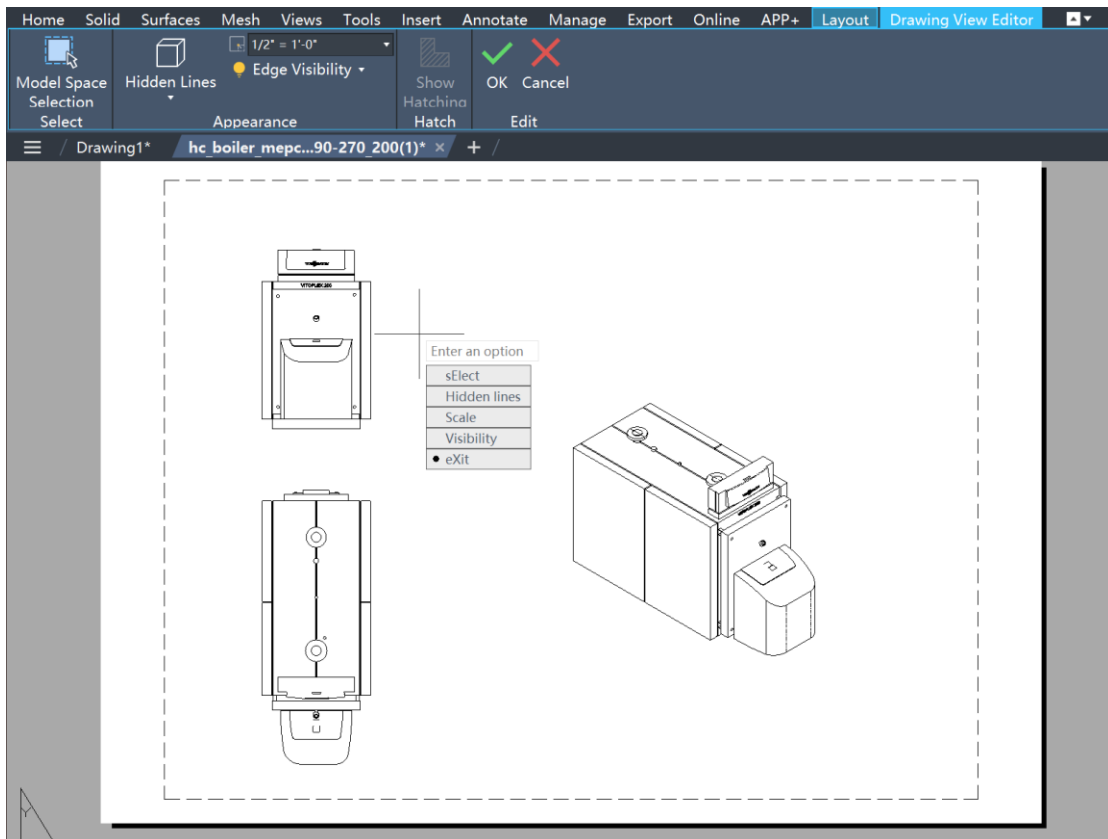


図 6. ビューの編集

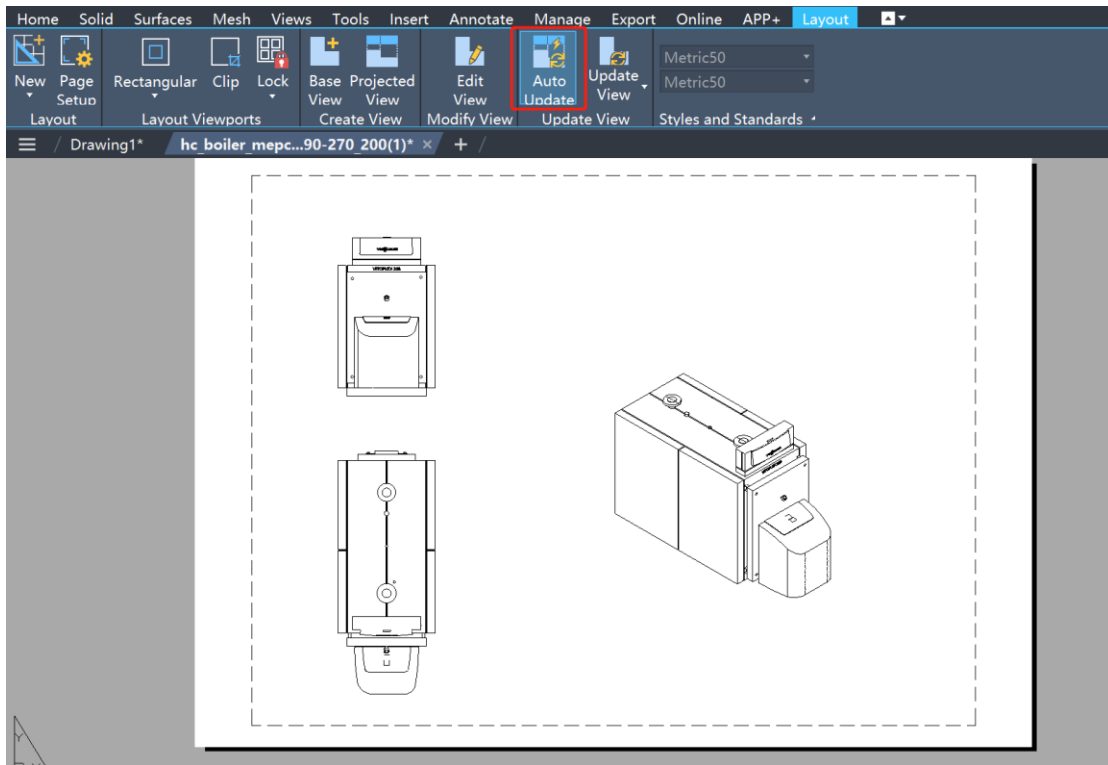


図 7. ビューの自動更新

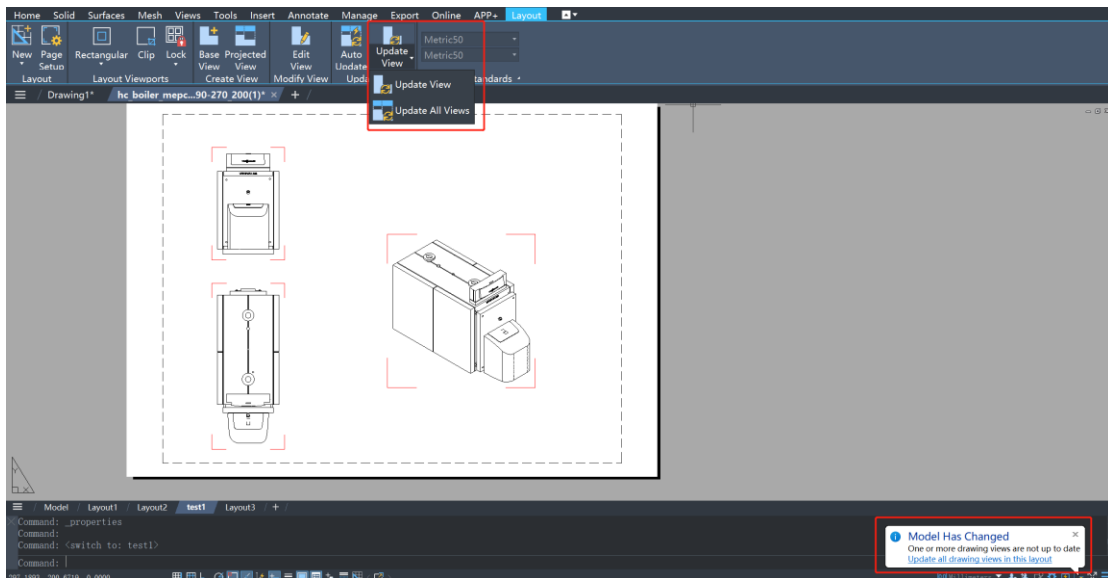


図 8. ビューの自動更新

2.1.4 新しい図面ビューのプロパティとクイックプロパティ

プロパティパネルに、隠線、標準スケール、ビュータイプ、投影角度、回転角度などの情報が追加されました。

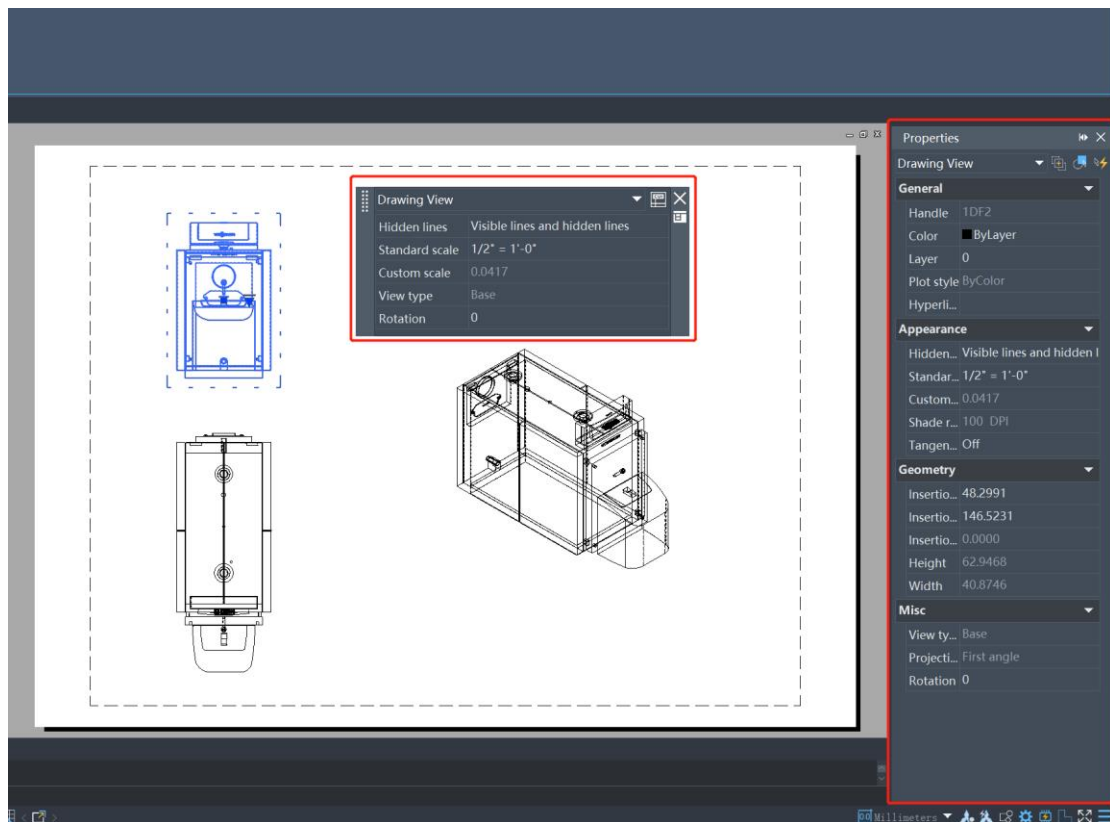


図 9. 図面ビューのプロパティとクイック・プロパティ

2.2 ViewCube

ViewCube 機能は、直感的な 3D ナビゲーションを提供し、モデルの回転や視点の切り替え、表示設定の調整が容易にできます。複雑なデザインの確認や正確な調整に最適で、ユーザー体験を向上させます。

2.2.1 ViewCube のコンポーネント



図 10. ViewCube

1. ホームアイコンを使用すると、モデルのデフォルトのフロントビューにすばやく戻ることができ、向きを簡単に変更することができます。
2. コンパスは、ViewCube の下であり、各方向を結ぶ円弧で、基幹方向（北、東、南、西）を使用してモデルの方向を示します。
3. ViewCube :
 - 角：モデルの 3 つの側面で定義された視点に基づき、モデルの現在のビューを 3/4 ビューにリダイレクトします。
 - 面：6 つの標準的な正投影ビュー
 - 端：モデルの 2 つの側面に基づく 1/2 ビューにモデルのビューをリダイレクトします。

2.2.2 ViewCube メニュー

このメニューから、ホームビューの復元や変更やビュー投影モー

ドの切り替え、ViewCube の設定が行えます。

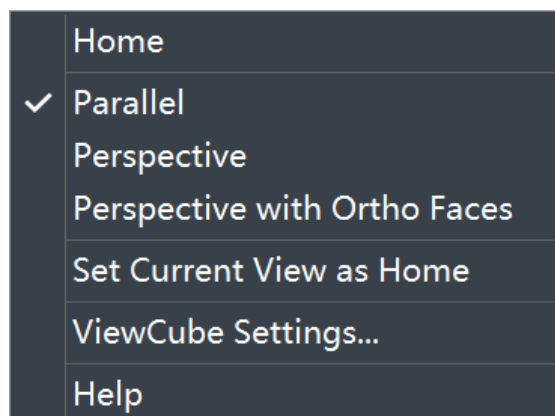


図 11. ViewCube メニュー

2.2.3 ViewCube 設定

ViewCube の表示／非表示、位置、サイズ、透明度などの設定が行えます。

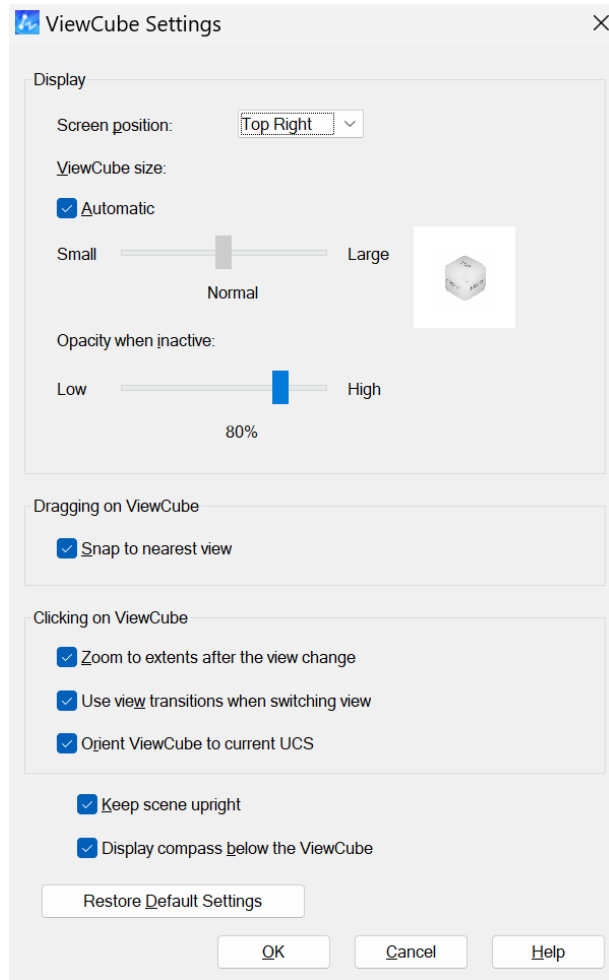


図 12. ViewCube 設定ダイアログボックス

2.3 滑らかな線/面の表示の最適化

滑らかな線や面の表示品質が向上し、より明確で美しいビジュアル効果が得られます。この最適化により、詳細作業が容易になります。

これらの設定は、ハードウェアアクセラレーションパネルまたは **FACESMOOTHING** と **LINESMOOTHING** 変数で調整できます。

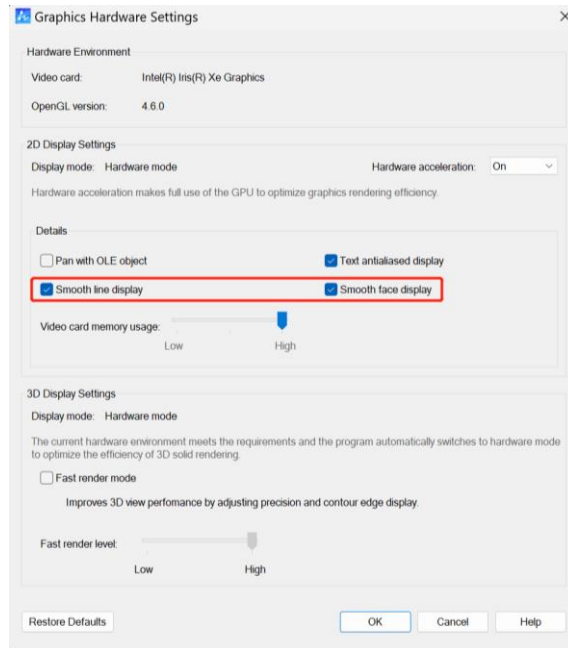


図 13. グラフィックス・ハードウェアの設定で、滑らかなライン表示と滑らかな面表示を行う。

2.4 GeoTIFF 画像フォーマットの解析

GeoTIFF フォーマットは、標準的な TIFF 画像フォーマットに地理的参照情報（座標系、投影タイプなど）を追加したものです。ZWCAD 2025 1.2 では、GeoTIFF ファイルの解析と図面への添付が可能です。.

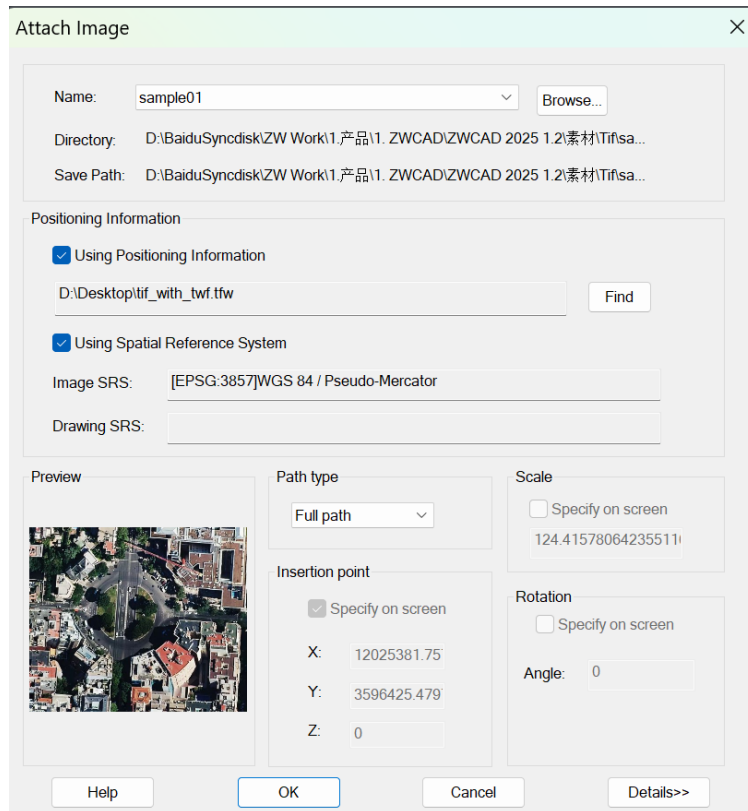


図 14. 位置と空間参照システム情報の使用

3. その他の機能強化

- 複数の OLE オブジェクトを含む図面でのパンとズーム効率が向上。
- テキスト計算機能がマルチラインテキストタイプに対応。

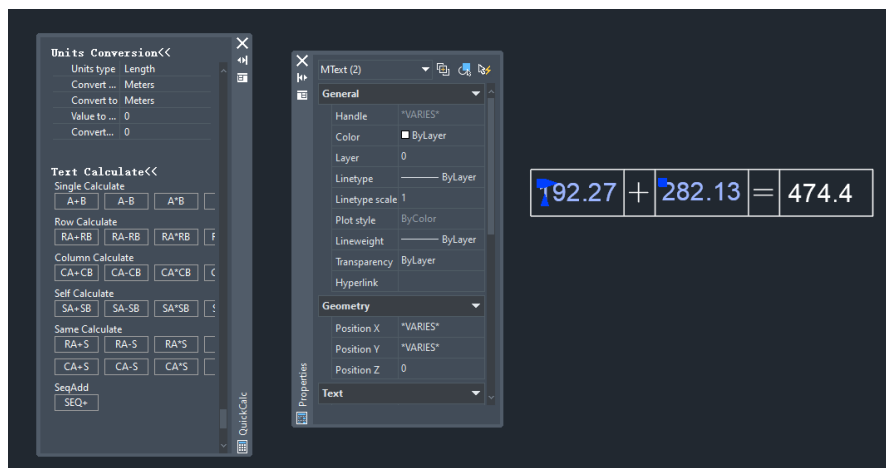


図 15. Mtext を選択して計算

- リボンインターフェースにレイヤー状態が表示されるようになりました。

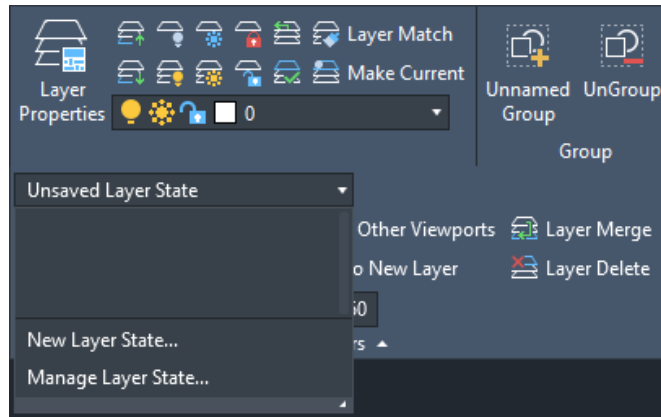


図 16. レイヤー・ステート・マネージャーはリボンインターフェースにあります。

- ステータスバーの表示を制御する STATUSBAR システム変数が追加。
- オンライン更新後、CUIX ファイルの自動統合に対応。

4. 新コマンド&システム変数

新コマンド	説明
VIEWBASE	モデル空間からベースビューを作成します。
VIEWEDIT	既存の図面ビューを編集します。
VIEWPROJ	既存の図面ビューから 1 つ以上の投影ビューを作成します。
VIEWSTD	図面標準ダイアログボックスを開きます。
VIEWUPDATE	ソースモデルの変更により古くなった図面ビューを更新します。
NAVVCUBE	ViewCube に関連プロパティを表示または設定するかどうかを制御します。

新コマンド	説明
VIEWUPDATEAUTO	ソースモデルの変更時に、図面ビューを自動的に更新するかどうかを制御します。
NAVVCUBEDISPLAY	ViewCube を 2D および 3D ビジュアル スタイルで表示するかどうかを制御します。
NAVVCUBELOCATION	図面領域における ViewCube の表示位置を制御します。
NAVVCUBEOPACITY	非アクティブ時の不透明度をコントロールします。
NAVVCUBEORIENT	ViewCube が現在の UCS と WCS のどちらを反映するかを制御します。
NAVVCUBESIZE	ViewCube の表示サイズを設定します。
ORBITDISPLAY	オービット時に選択したエンティティのみを表示するかどうかを制御します。
FACESMOOTHING	線幅、3D モード線、面エッジを持つグラフィックにスムーズ効果を適用するかどうかをコントロールする。